取付説明書

アルパイン
200系ハイエース専用　デジタルミラー取付けキット
（純正ルームミラー交換タイプ・車外用リアカメラカバー）

KTX-OC200HI/ KTX-OC200HI-W

当製品の適合情報は2023年10月1日現在のものです。商品の仕様変更及び、車両の仕様変更により予告無く変更になる場合があります。
最新の適合情報は弊社最新カタログ及びホームページ(https://www.alpine.co.jp/)にてご確認ください。

車 種	年 式	型 式
ハイエース（標準ルーフ / ミドルルーフ）	H25/12 ～現在	200 系（4・5・6 型）

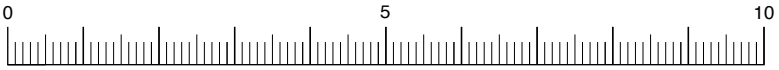
ここでの説明は、キットの取付・配線位置の説明に限らせていただきます。
各製品の取り扱いは、製品付属の取扱説明書をご確認ください。

適合について

- ●純正デジタルインナーミラー付車は装着できません。
- ●純正ミラーに内蔵されている機能がある場合は、使用できなくなります。
- ●製品取り付け部周辺にオプション等が取り付けられている場合は、製品を装着できない場合があります。
- ●純正のバックモニター内蔵自動防眩ミラー装着車は、別売のケーブル(KWX-Y400HI-NR)またはRCA変換ユニット(KWX-Y410HI-G)を取り付けることによりナビゲーションへバックモニターの映像を映すことが可能となります。

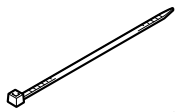
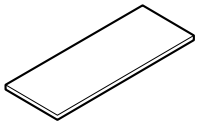
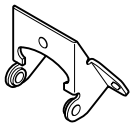
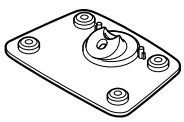
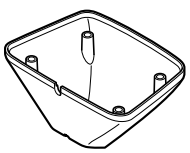
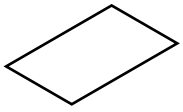
使用上のご注意

- ●使用環境によっては荷室に積んである物や、ハイマウントストップランプの光がリアガラスに映り込み、デジタルミラーに表示される場合があります。

⚠注意	取付説明書を印刷して使用する場合は、下記のメモリに定規をあてて、必ず原寸で印刷されていることを確認して、ご使用ください。  メモリに定規をあてて、原寸であることを確認してください。

1 構成部品

※製品の仕様は、予告なく変更することがあります。

取付ブラケット	取付ブラケット固定ねじ	タイラップ（150mm）	ｸｯｼｮﾝﾃｰﾌﾟ（75mm×250mm）	車外用リアカメラブラケット
 ×1	 ※1本は使用しません ×5	 ×10	 ×1	 ×1
車外用リアカメラ取付ベース	**車外用リアカメラ取付カバー**	**バインド小ねじ(M2.5×4)**	**タッピングねじ（φ3×8）**	**型紙**
 ×1	 ×1	 ×1	 ×4	 ×1

2 必要工具

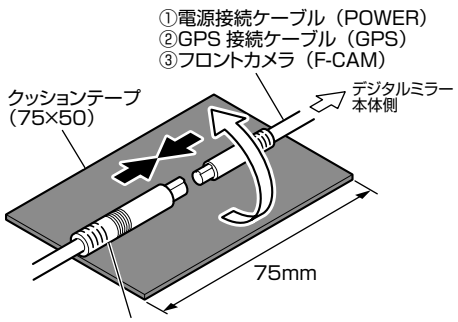
プラスドライバー、マイナスドライバー、クリップはずし、10mm レンチ、T20 トルクスレンチ、ドリル（φ 13)、
マスキングテープ、脱脂剤、カッターナイフ、はさみ、ニッパー、保護手袋

3 取付概要図

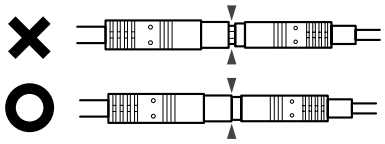
フロント側

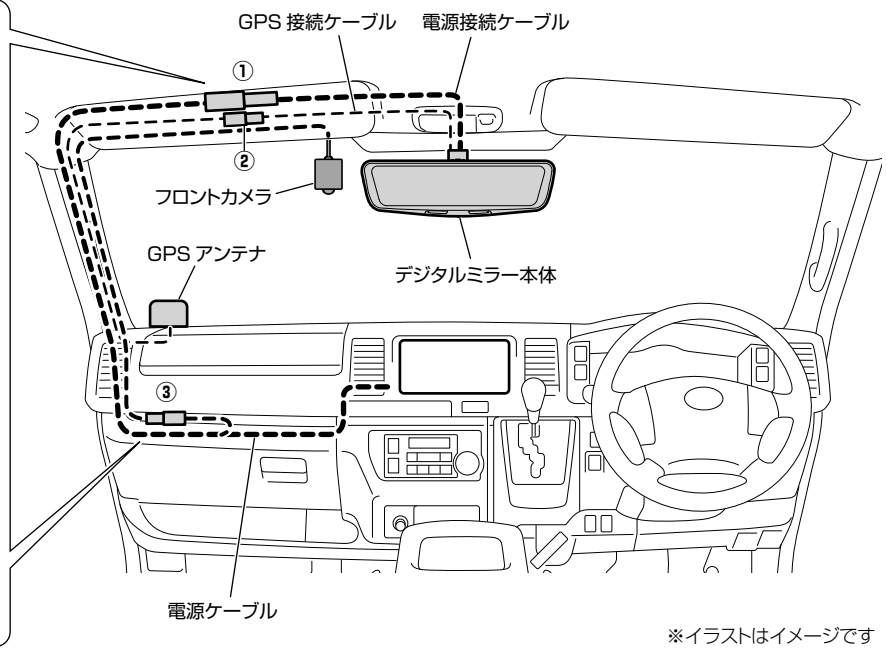
下図のようにデジタルミラー本体、フロントカメラ、GPS アンテナ（ダッシュボード左奥）、電源ケーブルを取り付けます。

各ケーブルを接続してクッションを巻いてください。



各ケーブルは下図を参照してしっかりと接続してください。



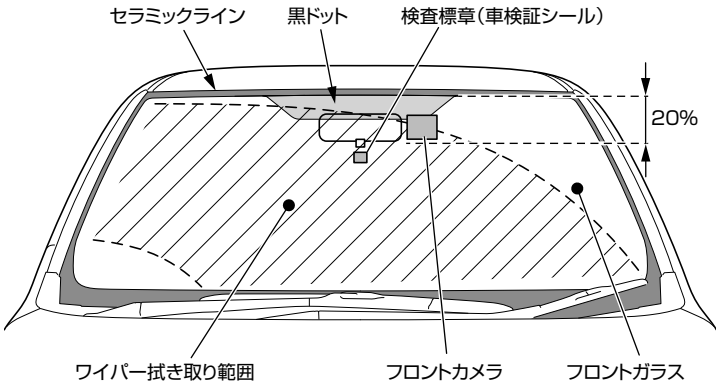


※イラストはイメージです

■フロントカメラ取付条件

- ●運転者の視界を妨げない位置に取り付けてください。
- ●車両の前方が全て撮影できる位置に取り付けてください。
- ●できるだけ車両の中心近くになるように取り付けてください。
- ●他のアンテナなどからできるだけ離して取り付けてください。
- ●カメラ部分がワイパーのふき取り範囲内に入る位置へ取り付けてください。
- ●フロントカメラの映像にセラミックライン（黒ドット）や検査標章（車検証シール）が映り込まないように取り付けてください。
- ●フロントガラスの上部 20% の範囲内に取り付けてください。
- ●エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。

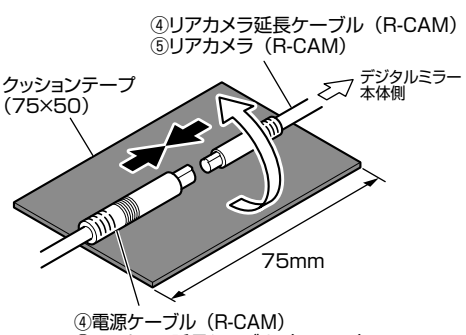
<室外側から見た図>



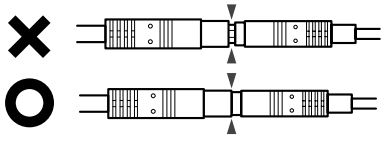
リア側

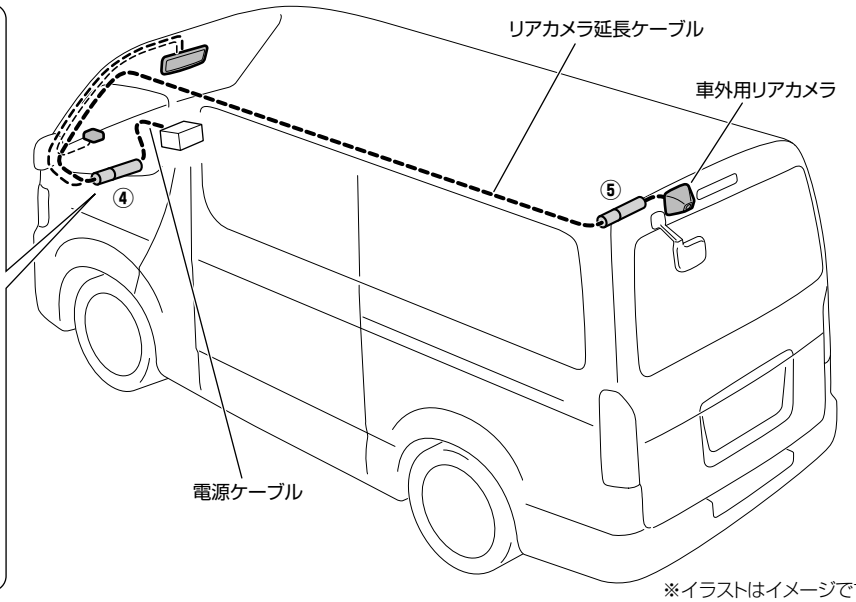
下図のようにリアカメラ、リアカメラ延長ケーブルを取り付けます。

各ケーブルを接続してクッションを巻いてください。



各ケーブルは下図を参照してしっかりと接続してください。





※イラストはイメージです

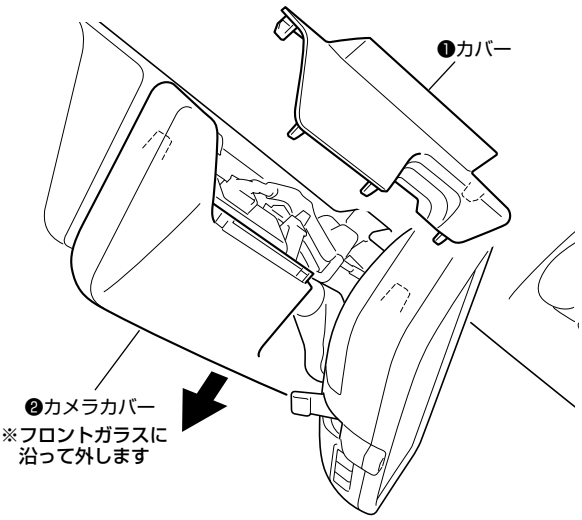
4 取付要領

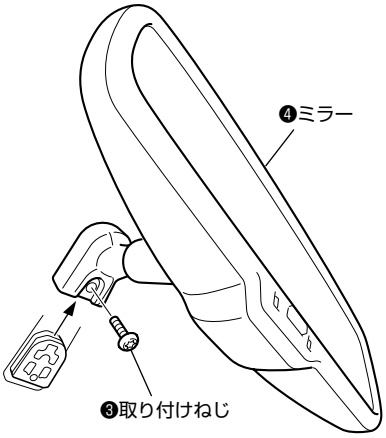
フロント側

■ミラーの取り外し

【カメラカバー付きの場合】

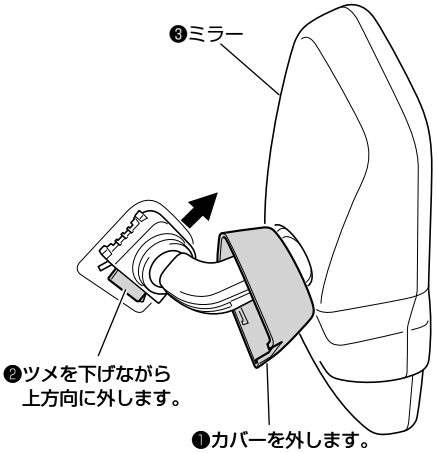
1. カメラカバーとミラーを外します。
   ※番号順に取り外してください。





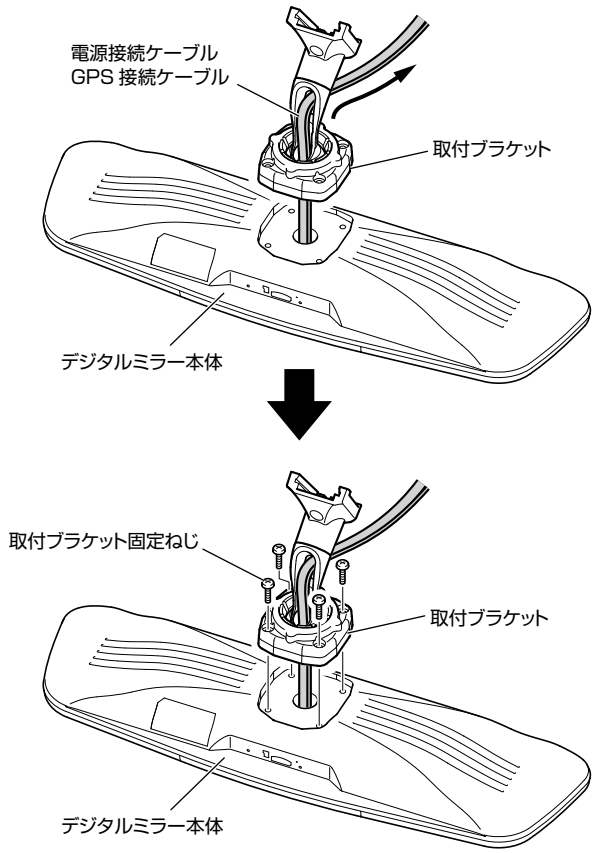
【ミラーがツメで固定されている場合】

1. ミラーを外します。
   ※番号順に取り外してください。



■取付ブラケットの取り付け

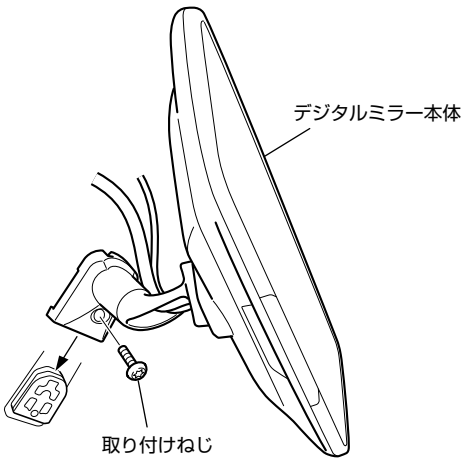
1. 取付ブラケットをデジタルミラー本体に取り付けます。



■デジタルミラー本体の取り付け

【カメラカバー付きの場合】

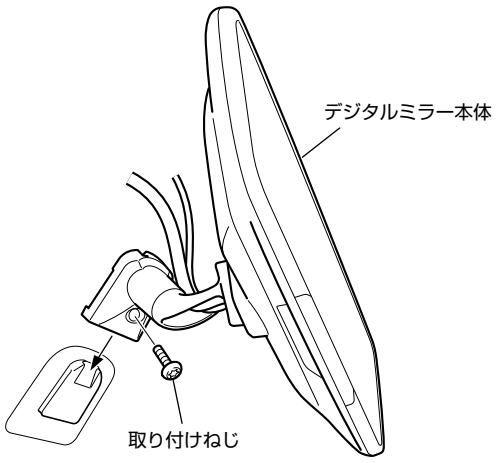
1. デジタルミラー本体を車両に取り付けます。



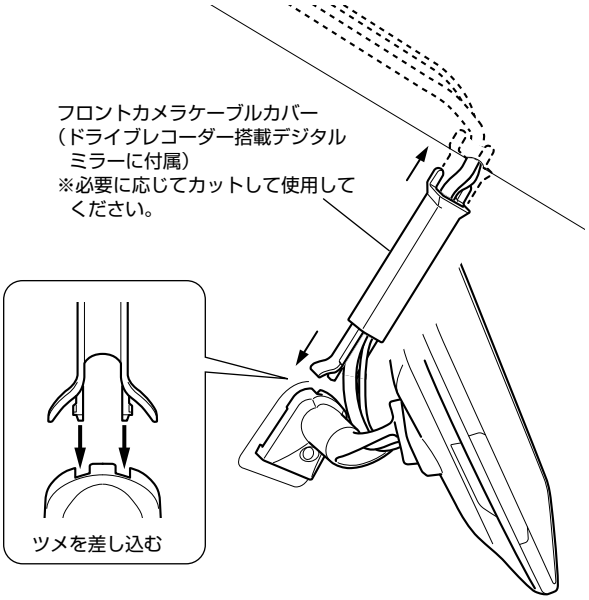
2. 取付概要図を参照して、GPSアンテナ、電源ケーブルを取り付けます。

【カメラカバー無しの場合】

1. デジタルミラー本体を車両に取り付けます。



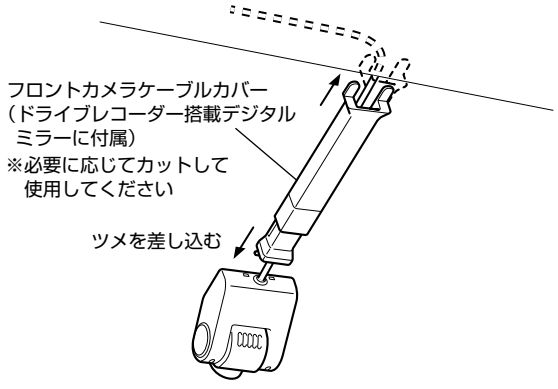
2. デジタルミラー本体ケーブルカバーを取り付けます。



3. 取付概要図を参照して、GPSアンテナ、電源ケーブルを取り付けます。

■フロントカメラケーブルカバーの取り付け（ドライブレコーダー搭載デジタルミラーのみ）

1. フロントカメラケーブルカバーを取り付けます。



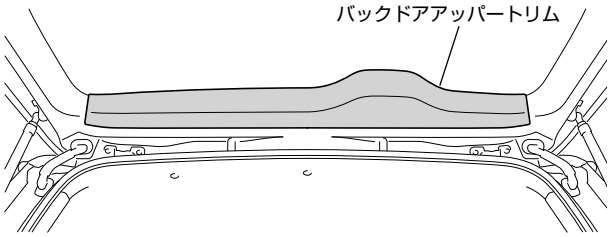
リア側

※ここでの説明は標準ルーフです。ミドルルーフも同様に作業してください。

■バックドアアッパートリムの取り外し

1. バックドアアッパートリムを外します。

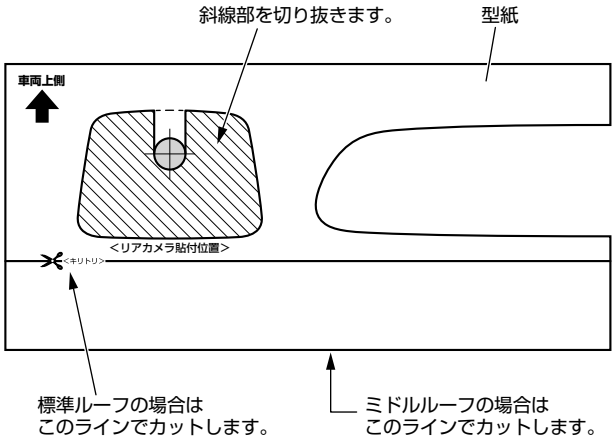
＜バックドアの室内側＞



■車外用リアカメラケーブル用の穴あけ加工

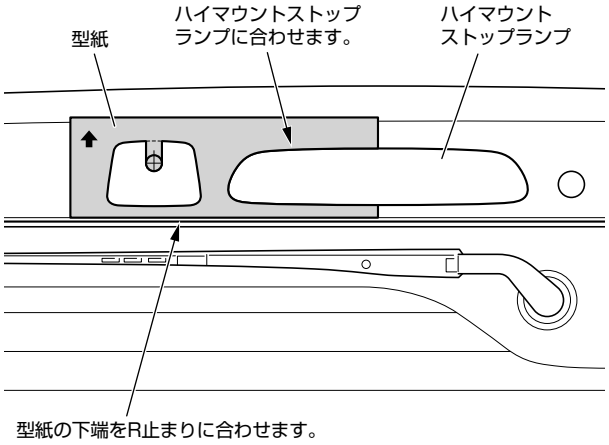
1. 車種に合わせて型紙を切り取ります。

⚠注意	車種によって型紙の切り取るラインが異なりますので注意してください。



2. バックドア上部のハイマウントストップランプに合わせ、型紙を貼り付けます。

＜バックドア上部の室外側＞

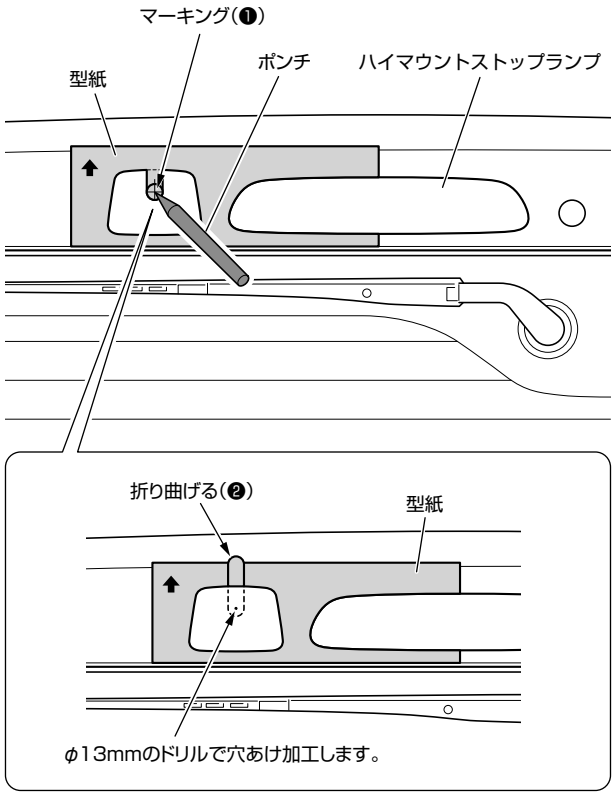


3. バックドア上部にケーブル用の穴あけ加工位置をポンチなどでマーキングします。（❶）

4. 型紙の図の位置を上に折り曲げ（❷）、φ13mmのドリルで穴あけ加工します。

⚠注意	●穴あけ加工する際は、穴あけ加工位置の車両裏側に何もないことを確認してください。 ●保護メガネ（ゴーグルなど）・保護手袋（軍手など）を着用し刃物の取扱いに注意してください。 ●加工穴断面及び周辺に市販のタッチアップペイントをしっかり塗り、十分に乾燥させてください。

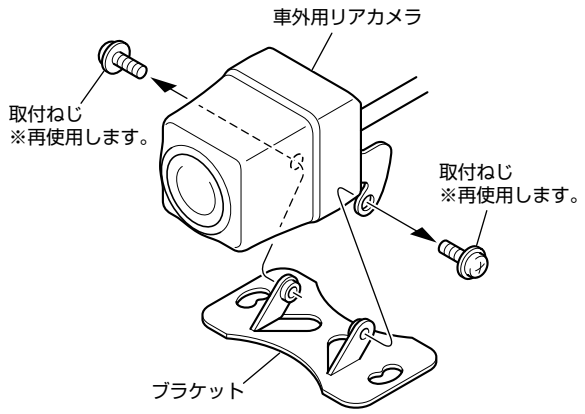
<バックドア上部の室外側>



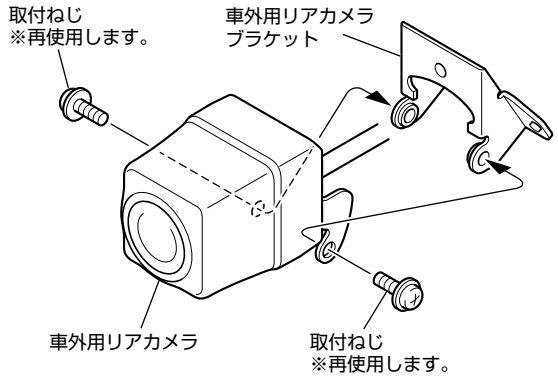
■取り付け

1. 車外用リアカメラからブラケットを取り外します。

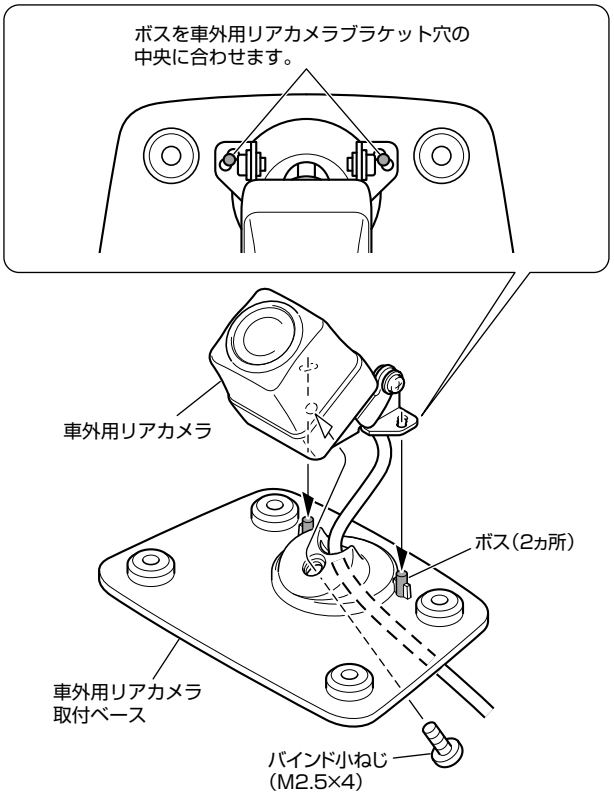
⚠注意	取り外した取付ねじは再使用しますので、無くさないように注意してください。



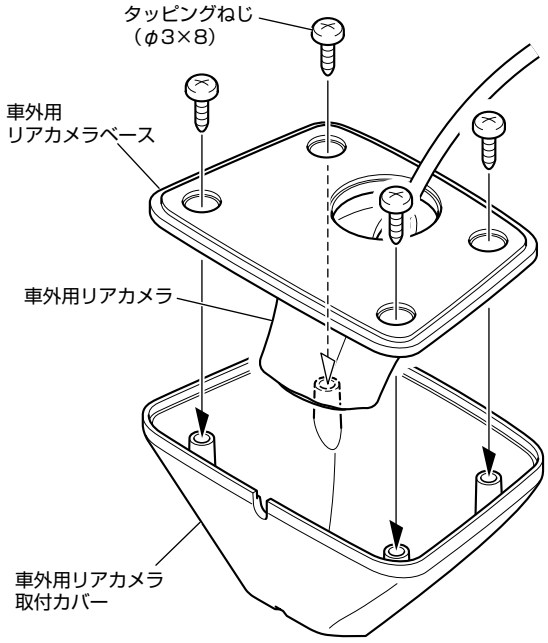
2. 車外用リアカメラブラケットを車外用リアカメラに取り付けます。



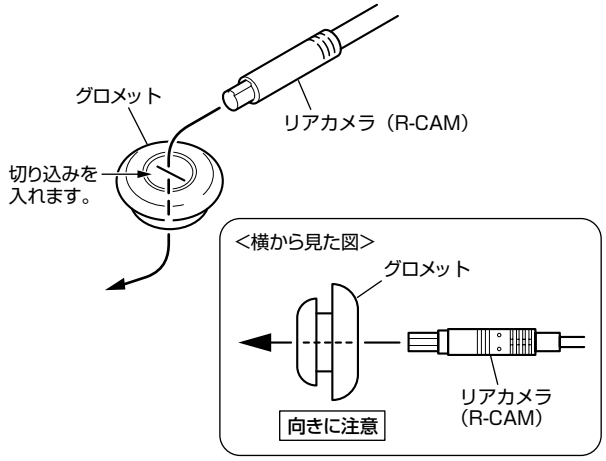
3. 車外用リアカメラを車外用リアカメラベースに取り付けます。



4. 車外用リアカメラベースを車外用リアカメラカバーに取り付けます。



5. グロメットに切り込みを入れ、車外用リアカメラのケーブルを通します。

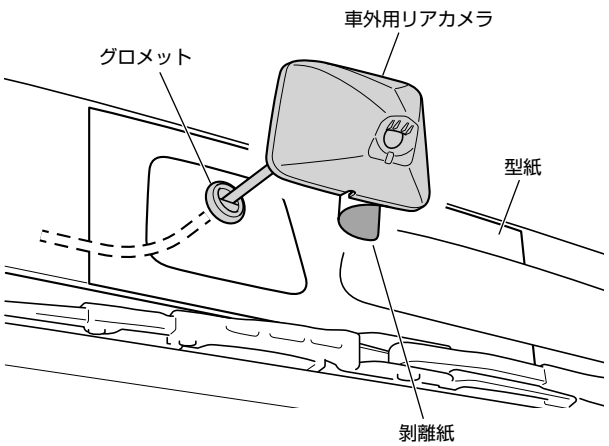


6. 車外用リアカメラのケーブルをバックドア上部の加工した穴に通し、グロメットをバックドア上部に取り付けます。

7. 脱脂材を使用して、リアカメラ貼付け位置の汚れや油分などをきれいに拭き取ります。

8. 車外用リアカメラベースの剥離紙を剥がします。

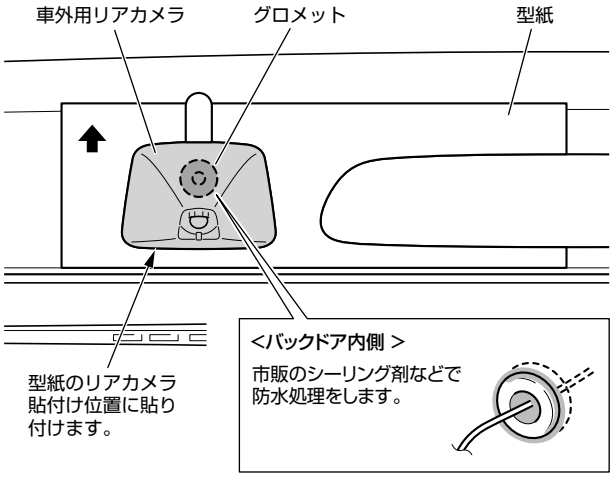
<バックドア上部の室外側>



9. リアカメラ貼付け位置の脱脂剤が乾いたことを確認し、型紙のリアカメラ貼付け位置に車外用リアカメラを取り付け、リアゲート内側のグロメット部を防水処理します。

⚠注意	●車外用リアカメラを取り付ける際、型紙に貼り付けないように注意してください。 ●リアカメラベースの穴にグロメットを合わせて車両に取り付けます。 ●車外用リアカメラカメラ配線を通した部分には、市販のシーリング剤でバックドア内側からしっかり防水処理を行ってください。

<バックドア上部の室外側>



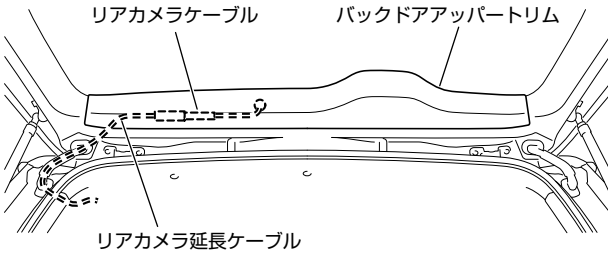
10. 車両から型紙を取り外します。

11. 車外用リアカメラのケーブルとリアカメラ延長ケーブルを接続します。

12. 車内に引き込んだ車外用リアカメラのケーブルを純正ハーネスに市販のタイラップなどで固定します。

13. 車外用リアカメラのケーブルとリアカメラ延長ケーブルをバックドアアッパートリムの中に収納し、復元します。

<リアガラスの室内側>



14. 取付概要図を参照して、リアカメラ延長ケーブルを取り付けます。

■動作確認

1. 電源が入ることを確認します。

■車両部品の復元

1. 取り外した車両部品を元通りに復元します。

⚠注意	ケーブル類を挟み込まないようにしてください。